

## Ⅸ 特色ある公民館活動

### 楽しいまちづくり講座

#### ～「大原維新」～

福岡市大原公民館 主事 夏目洋子

#### ①事業名

楽しいまちづくり講座「大原維新」

#### ②事業の目的

校区の実情を多くの住民が自由に話し合うことで課題を共有し、課題解決に向けて「大原のまちづくり」を展開するなかで、新しい人材発掘・多くのコミュニティデビューを図る。

#### ③事業の実施主体

校区自治協議会、公民館、行政（早良区役所地域支援課）の三者

#### ④事業予算

講師謝礼金、事務消耗品・・・行政負担      お茶・菓子代・・・自治協議会負担

#### ⑤実施に至る経緯

校区の事業内容が一部役員だけで決定され、多くの住民はやらされているとの声を聞くなかで、まちづくりをみんなで考えていくために住民の思い、地域のニーズを明確化できる参加型学習「ワークショップ」を開催することにした。

#### ⑥プログラム作成の視点

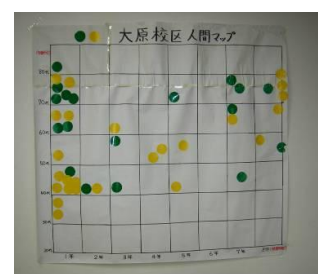
校区の現状を把握し課題を共有して、自分達の住んでいるまちはどうあるべきか？ どう変えるべきか？などの理想のまちを描き、自分達で出来ることを具体的に話し合い実践可能なプロジェクトを作成する。

#### ⑦事業の内容

##### ○第1回ワークショップ「大原のココが気になります」

受付で参加者の年齢、役職の経験年数をもとに各自シールを貼ってもらい大原校区人間マップを作製した。

- ・ほとんどの役員が1～2年で交代している。



- ・ 一部役員の長期化、高齢化が見られる。

等の傾向がよく分かった

各町内・各種団体等に呼びかけた結果、日頃は顔を会わさない方の参加者が多かったため、話し合いを始める前に、ファシリテーターによる簡単なゲームを繰り返すことで、和やかな雰囲気を作り、年齢・男女・経験年数等を考慮し、自由に発言できる5～6名のグループ分けを行った。

校区内の課題・気になるところをグループ内で意見を出し合い、思ったこと気づいたことをどんどんポストイットに書いては模造紙に貼って行った。他のグループの意見も参考にしながらまとめ、最後にグループごとに発表を行った。校区内の行政施設、自然環境の状況から役員や高齢者の悩みまで様々な意見が252件出された。



### ○第2回ワークショップ「大原未来予想図～こんなまちに住みたいな～」

行政に頼らない、自分たちでできるまちづくりを考え、グループごとの発表後、参加者同士が共感するグループの提案に投票をおこなった。

どのグループにも共通するキーワード「誰とでもあいさつができる、子どもの遊び場がある、お花いっぱいのもち」が浮かび上がってきた。

### ○第3回ワークショップ「大原起動計画～こんなこと始めます～」

前回の投票で多かった「お花いっぱい」「おまつり」「川遊び」のテーマごとに分かれ実現可能なプロジェクト計画を立て、グループごとに発表した。

大原の現状に気づかされ、大原を変えていこうとの強い思いで始まったワークショップ全3回が終わり、回数を重ねることによって親近感が増して、一体感が生まれてきた。最後に参加者全員で声高らかに「大原維新宣言」を行い、「次回、校区行事でお会いしましょう」を合言葉に解散した。



広報活動にも力を入れ、公民館・自治協議会・行政のそれぞれの担当者とワークショップの中から選ばれた企画委員を加えたメンバーでどのような内容を掲載するかを協議し「大原維新ニュース」を3回発行し、その都度校区住民にお知らせした。



### ⑧事業の成果

最後のワークショップを終えた参加者の感想は、

- ・ 町内のことを見直すきっかけとなった。
- ・ みんなが校区を良くしようという意気込みが感じられた。

- ・自由に意見交換できる場があって素晴らしい。
- ・世代や立場を超えた交流は楽しかった。
- ・住民が一つになるような行事をしようではありませんか、お互い認め合いながら。
- ・自分たちに住んでいるまちは自分たちで努力して楽しいまちにしていきたい。
- ・始めは夢物語で終わるのではと思っていたが具体的な話も出てきて実現できる夢へと変わって行った。

「まちづくり講座」の成果は、地域の人材発掘についてはワークショップ形式で行ったため、初めて公民館に来られる方も含めて全員が自由に発言し、多くの参加者の考え方など新しい面を発見することができた。また、地域課題の共有の点では、話し合いと発表を重ねるたびに参加者全員が課題を共有することができた。

住民不在のまま進められていく行事のあり方や、公民館として地域コミュニティ支援とは何をしていったらよいのかと、いろいろ考えさせられ気づかされたワークショップだった。

### みんなの思いをかたちに「フラワータウンプロジェクト」発足

何よりも、喜ばしいことはワークショップで提案された意見が大原校区のまちづくりに取り込まれ、校区自治協議会において23年度予算がつけられ「フラワータウンプロジェクト」～大原校区を花いっぱいにしよう～が発足したことである。初年度は公民館と小学校のまわりの花壇整備と花植えを行っている。今後も続けていく予定である。



#### ⑨今後の課題

「フラワータウンプロジェクト」についてはもっと多くの方たちに関心を持ってもらい、子どもから高齢者まで参加者の拡大を図り、土作り、種作りにも挑戦して大原校区を花いっぱいのまちにしていきたい。また、みんなが話し合ってみんなで決めたプロジェクトの「おまつり」「川遊び」についても住民の思いをかたちにできるように自治協議会と協働で今後のまちづくりに取り組んでいきたいと考えている。

#### 問合せ先

〒814-0022 福岡市早良区原4丁目8番13号 大原公民館 (Tel.092-822-0428)  
メールアドレス [oohara105@jcom.home.ne.jp](mailto:oohara105@jcom.home.ne.jp)